

**令和7年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度
(ポイント)**

令和6年12月26日

内閣府

1. 経済成長の見通し

2024年度は、内需は堅調である一方、財輸出の鈍化とサービス輸入の増加により外需がマイナス寄与となり、実質成長率は0.4%程度、名目成長率は2.9%程度となる見込み。

2025年度は、物価上昇が落ち着く中、個人消費等の内需が増加し、実質成長率は1.2%程度、名目成長率は2.7%程度となる見込み。

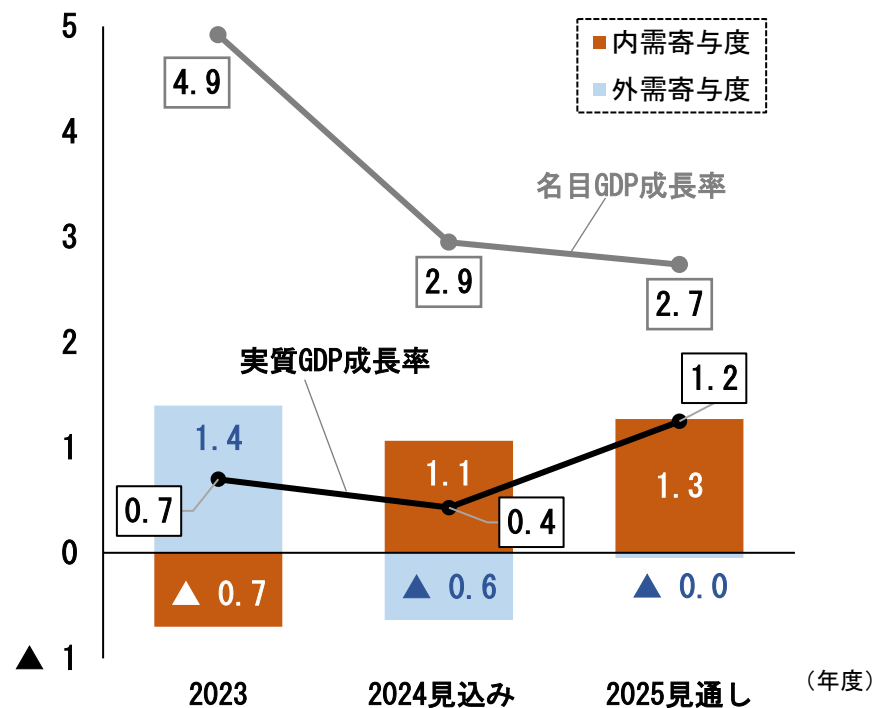
経済見通し主要経済指標

(前年度比、%、%程度)

	2023年度 実績	2024年度			2025年度		
		10月試算	民間 12月予測	政府経済 見通し	10月試算	民間 12月予測	政府経済 見通し
実質GDP	0.7	0.7	0.4	0.4	1.2	1.1	1.2
民間消費	▲0.4	0.9	0.6	0.8	1.2	1.0	1.3
民間企業設備	▲0.1	3.1	2.0	2.3	3.4	1.9	3.0
内需寄与度	▲0.7	1.1	1.1	1.1	1.3	1.0	1.3
外需寄与度	1.4	▲0.4	▲0.6	▲0.6	▲0.1	0.0	▲0.0
名目GDP	4.9 595兆円	3.1	3.0	2.9 613兆円	2.6	2.8	2.7 629兆円
消費者物価(総合)	3.0	2.6	2.6	2.5	2.0	2.0	2.0
完全失業率	2.6	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4

経済成長の内訳

(前年度比、寄与度、%)



(備考)

- 「10月試算」は、経済財政諮問会議（令和6年11月1日）における内閣府提出資料。
- 「民間12月予測」は、2024年7～9月期2次速報後における予測平均。
- 「民間12月予測」における消費者物価は生鮮食品除く総合。
- 為替レート、原油価格は2024年11月1日～30日の期間の平均値で同年12月以降一定と想定。世界経済成長率は、国際機関の経済見通しを基に算出。

外部環境 の想定

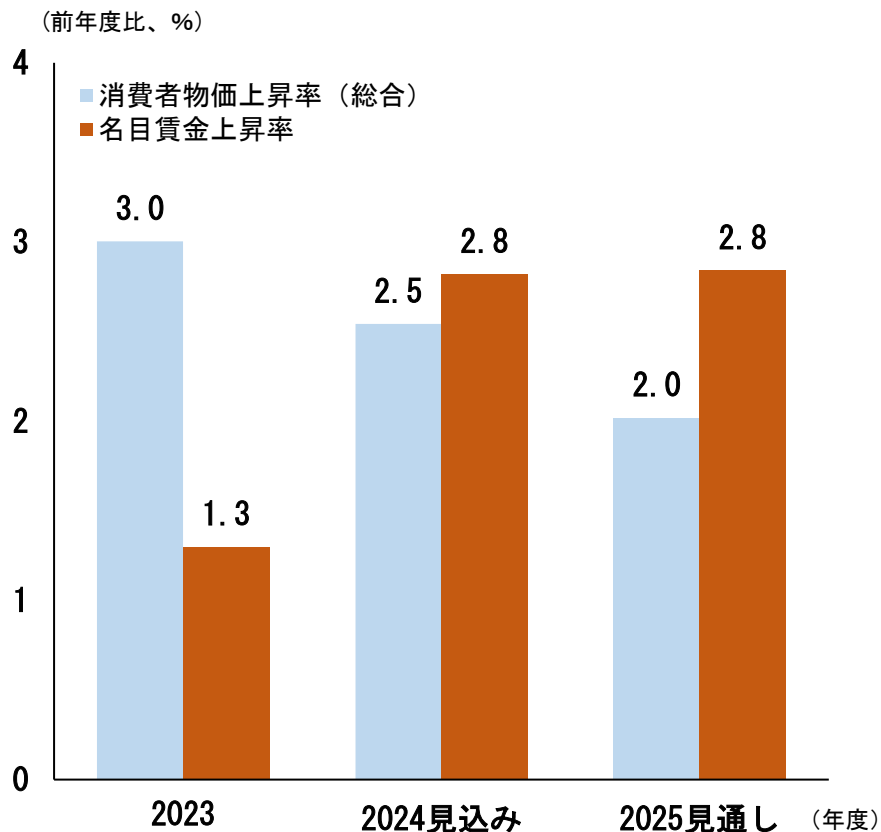
	2024年度		2025年度	
	10月試算	今回	10月試算	今回
為替レート (円/ドル)	149.5	152.8	147.2	153.6
原油価格 (ドル/バレル)	82.1	81.8	77.6	76.2
世界経済成長率 (%)	3.0	3.0	2.9	2.9

2. 賃金と個人消費の見通し

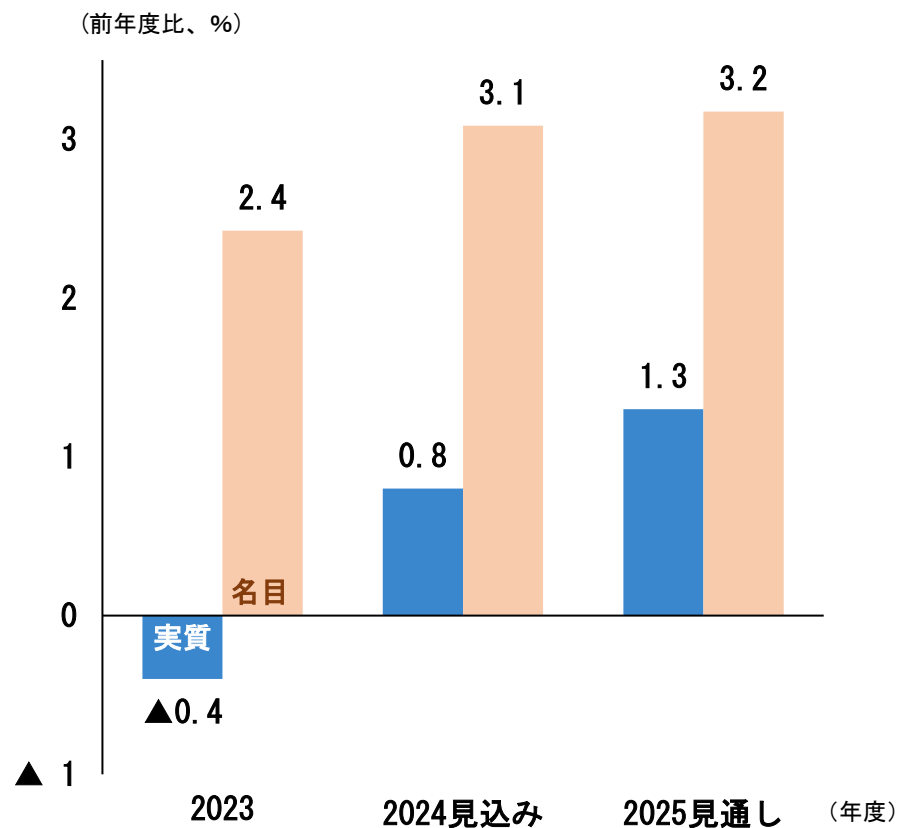
2024年度を通じてみると、賃金上昇率は物価上昇率を上回り、2025年度には、それが定着する見込み。

それに伴い、実質個人消費も徐々に増加する見通し。

物価と賃金の見通し



個人消費の見通し

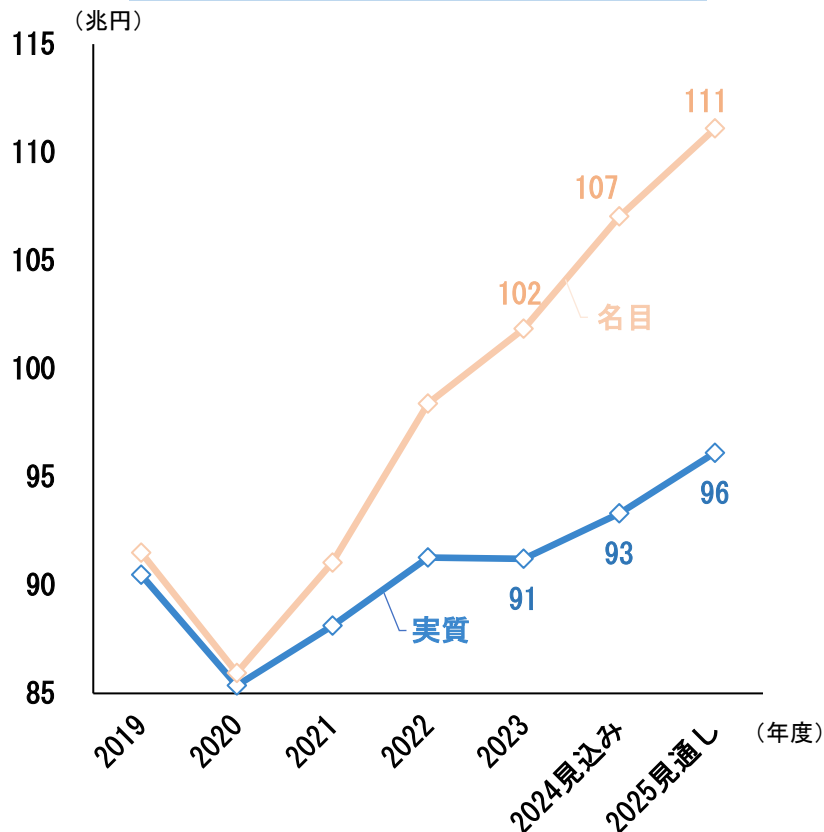


(注) 賃上げについては、2025年度も2024年度と同様の高い賃上げが実現できる環境整備を続けることを想定。

3. 設備投資・輸出入の見通し

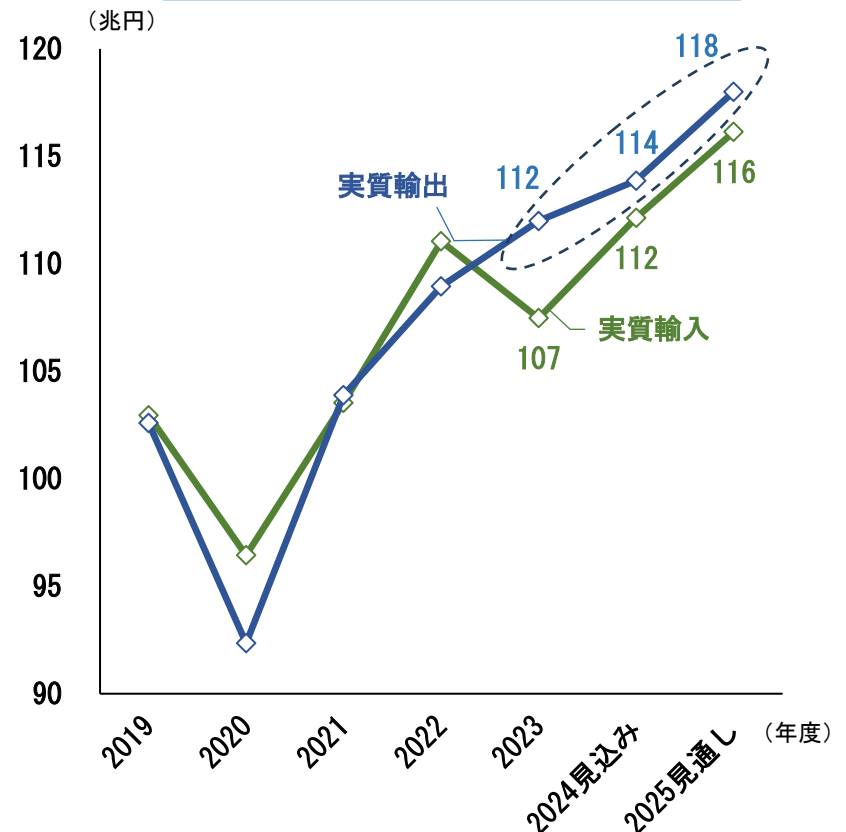
- 設備投資は、企業の収益増加や投資意欲の高さを背景に、名目・実質ともに、引き続き増加する見込み。
- 実質輸出は、2024年度は、自動車認証不正問題の影響や中国経済の鈍化により低い伸びとなる一方で、2025年度は、海外経済が緩やかに成長する中で、伸びが高まる見込み。
- 実質輸入は、内需の緩やかな伸びが継続する中で、2024年度・2025年度ともに、増加する見込み。

設備投資の見通し



前年度比 (%)	2023年度	2024年度見込み	2025年度見通し
実質	▲0.1	2.3	3.0
名目	3.5	5.1	3.8

輸出・輸入の見通し

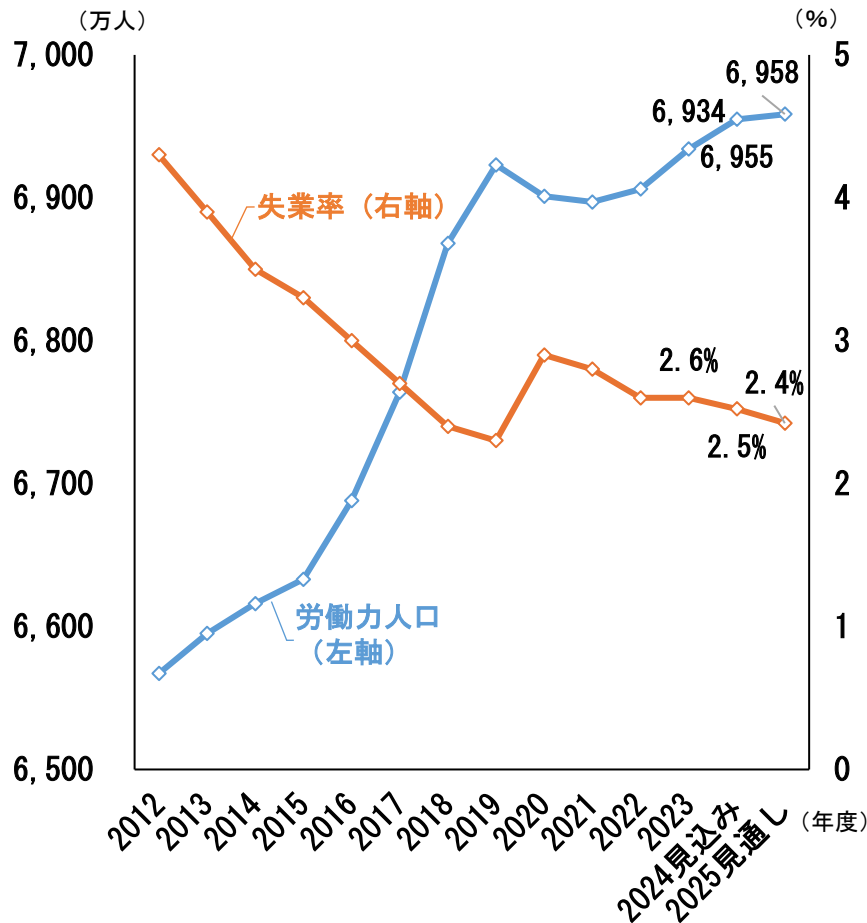


前年度比 (%)	2023年度	2024年度見込み	2025年度見通し
実質輸出	2.8	1.7	3.6
実質輸入	▲3.3	4.3	3.6

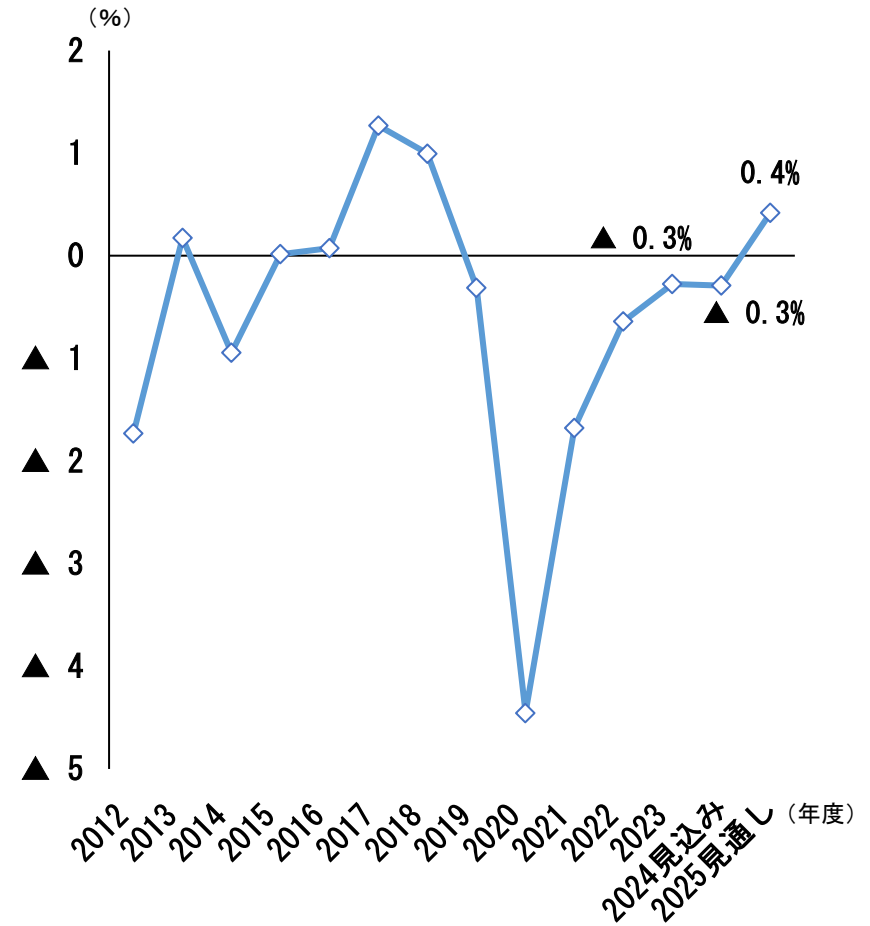
4. マクロの需要と供給のバランス

- 労働力人口の伸びが頭打ちとなる中、労働需給はひっ迫。
- マクロ経済で見ても、需要不足の局面から、供給制約の局面に入る見込み。

労働需給のひっ迫



GDPギャップ



(注) 先行きの潜在GDPは直近実績値（年率0.5%）を用いて機械的に延伸。